



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)都島区高倉町1丁目 計画	
建設地	都島区高倉町1丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	リバー産業(株)	
設計者	(株)日企設計	
敷地面積	1,503.97 m <sup>2</sup>	
建築面積	599.52 m <sup>2</sup>	
延床面積	8,691.25 m <sup>2</sup>	
構造/階数	RC造 / 地上20階	
完了年(予定)	2027年8月	

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**A**  
BEE=1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 **有**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質**  
Qのスコア= 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.1

**LR 環境負荷低減性**  
LRのスコア= 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物全体の断熱性能の向上や設備システムの高効率化を図り、省エネルギー性に配慮。また、敷地内条件に応じた緑地づくりを行い、多種の樹木を生かすことで植栽の緑視率を高め、豊かな景観を創出。居住者が快適に過ごすことができるよう、より良い室内、室外の環境形成に努め、さらに、建物の長寿命化を図ることで地球温暖化にも配慮している。	<b>その他</b> 特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 外皮性能を断熱等性能等級5を満たす性能とすることで温熱環境を向上させている。	<b>Q2 サービス性能</b> 各住戸にGbitクラスのインターネットを引き込み、機能性を向上させている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 多数の樹木を植えるなどして広い緑地づくりを行い、建物利用者や地域住民の憩いの場所を提供することで、地域性・アメニティへの配慮を行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物全体の無断熱箇所を無くし、Low-E複層ガラスや熱伝導率の低い断熱材の採用により高い断熱性能を持たせ、建物外皮の熱負荷抑制に努めている。 また、各住戸に高断熱浴槽や、LED照明などの高効率設備の採用により設備システムの高効率化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ノンフロン断熱材を採用し、汚染物質含有材料を使用回避するとともに、リサイクル材を使用し、資源の有効利用を心がけた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 長寿命の躯体や高効率な設備により、ライフサイクルCO <sub>2</sub> の排出を抑制し、地球温暖化に配慮をしている。また、適切な駐輪場台数を配置し、管理用車両の転回スペースを計画、屋外広告物照明の設置は行わないなど、敷地外環境に配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	長寿命の躯体や高効率な設備により、ライフサイクルCO2排出率＝70%以下を抑制している。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	4.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内条件に応じた緑地づくりを行っている。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	建物全体の無断熱箇所を無くし、Low-E複層ガラスや熱伝導率の低い断熱材の採用により断熱性能の向上を図っている。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明などの高効率設備の採用により設備システムの高効率化を図っている。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること  
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）  
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	
	等級4を超える（相当）	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	0.76	-	-